

国際セミナー「再生可能エネルギー外交の時代と日本の進路」
河野外務大臣ご挨拶
(平成30年4月4日(水) 於: 笹川平和財団)

アドナン・アミン 国際再生可能エネルギー機関(IRENA)事務局長
ご列席の皆様

国際セミナー「再生可能エネルギー外交の時代と日本の進路」の開会にあたり、外務省を代表して一言御挨拶申し上げます。桜が咲き誇るこの美しい季節に、アミン IRENA 事務局長を日本にお迎えし、多くの皆様の御参加を得て、この重要なテーマに関するセミナーを開催できることを大変喜ばしく思います。

(再生可能エネルギー外交の時代)

春は再生と希望の季節ですが、再生可能エネルギーの世界でも、春の訪れが感じられます。アミン事務局長が提唱されている「再生可能エネルギー外交の時代」は、まさにこの動きと軌を一にするものです。

その背景には、パリ協定を踏まえ、国際社会がエネルギー転換による低炭素社会の実現に真剣に取り組む中で、特に再生可能エネルギーが極めて重要な役割を果たしているという事実があります。近年、再生可能エネルギー由来の電力の価格は世界各地で急激に低下し、石炭・ガス等の化石燃料由来の電力に対して十分な価格競争力を持つに至っています。

アミン事務局長の呼びかけに応え、私は本年1月に、アブダビでのIRENA 総会に出席し、「日本の再生可能エネルギー外交 気候変動とエネルギーの未来」と題した演説を行いました。その中で、私は、日本は再生可能エネルギーの時代の到来を歓迎し、技術とイノベーションの力で世界のエネルギー転換や気候変動問題への取組を導いていくと述べ、アミン事務局長をはじめ多くの参加者からの共鳴を得ました。

今回、アミン事務局長に、再生可能エネルギーに関する日本の取り組みを実際にご覧いただくとともに、このセミナーが内外の多くの方々との議論を深める機会となることを期待しています。1月に打ち出した我が国の再生可能エネルギー外交の具体的な取組が、早速、形になったことを大変嬉しく思います。

IRENA 総会における演説で、私は、今後日本が新しい思考で再生可能エネルギー外交を展開し、世界の動きを正しく理解し、長期的視野に立った一貫した対応をとっていくことを宣言しました。再生可能エネルギーをめぐる国際情勢の中心におられるアミン事務局長から、日本で直接お話を伺う機会は、まさに世界の動きを正しく理解する上で大変貴重なものです。本日の議論により、我が国の再生可能エネルギー外交が更に進展することを期待しています。

(再生可能エネルギー外交と経済成長)

エネルギーは、国民生活の基盤であり、日本の経済成長と繁栄に欠かせません。絶え間なく変化する国際情勢に応じた戦略的なエネルギー外交を展開することは、エネルギー資源の大半を海外に依存する日本にとって、外交政策の試金石でもあります。

1月のIRENA総会での演説の後、2月には各分野で積極的に活動されている専門家の方々をメンバーとする「気候変動に関する有識者会合」から、「気候変動対策で世界を先導する新しいエネルギー外交を推進すべき」との提言を頂きました。この提言の中では、日本としてこれまで以上に再生可能エネルギーを重視した外交を実施すべきとの考えが示されています。

私が、再生可能エネルギー外交を掲げるのは、世界のエネルギー部門で今後最も成長していくのが再生可能エネルギーであり、日本企業が関連分野で持つ高い技術力を国際市場での競争力に転換できるかどうか、これからの日本の経済成長を左右すると考えるからです。

国際エネルギー機関(IEA)の「世界エネルギー展望」によると、今後 2040 年までの世界の新規電力容量投資のうち、3分の2は再生可能エネルギーに向けられます。その結果、2040 年には再生可能エネルギー由来の電力が世界の発電量の 40%を占めると予測されています。世界の成長を日本に取り込む上でも、再生可能エネルギーが非常に有望な分野であり、優先的にリソースを投入すべきであることは明らかです。

我が国のエネルギー外交は、再生可能エネルギーを柱の一つとし、日本の経済成長を後押しする経済外交全体の中でも特に重視しています。日本が、再生可能エネルギーの普及拡大を通じて、世界の気候変動問題への取組において主導的な役割を果たしつつ、日本と世界のエネルギーの未来をよりよいものにしていく、それが私の願いです。

(IRENA との協力)

我が国が積極的な再生可能エネルギー外交を推進していく上で、IRENA は大変重要なパートナーです。2011 年に正式に設立されて以来、IRENA は再生可能エネルギーの世界的な展開を推進し、今や 155 の加盟国を持つ国際機関となりました。

日本はこれまでも IRENA の発展を様々な形で支えてきましたが、引き続き IRENA を支援し、IRENA と共に、世界のエネルギー転換と気候変動問題への対応においてリーダーシップを発揮していきたいと思えます。

(結語)

本日のセミナーでは、アミン事務局長から講演をいただいた後、有識者の方々との間で世界の再生可能エネルギーの現状や日本を取り巻く状況について議論いただくと承知しております。エネルギー転換や気候変動問題では、世界共通の利益のため、国際社会が一丸となって取り組むことが重要です。

本日のセミナーが、参加者の皆様と一緒に、日本の現在の立ち位置を気持ち新たに見つめ直し、今後進むべき道に思いを巡らせる、桜の季節にふさわしい有意義な機会になることを祈念し、私からの開会挨拶とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

(了)